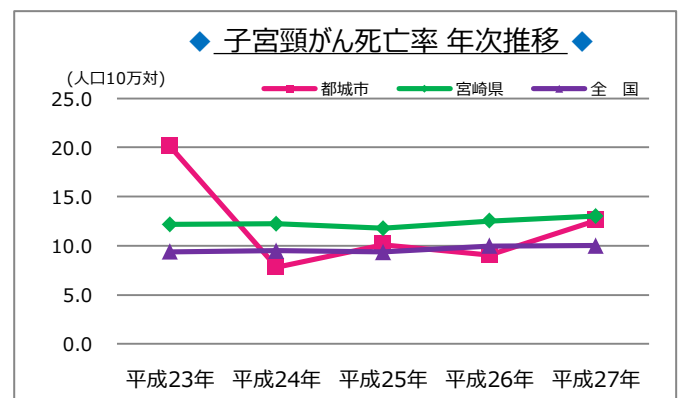
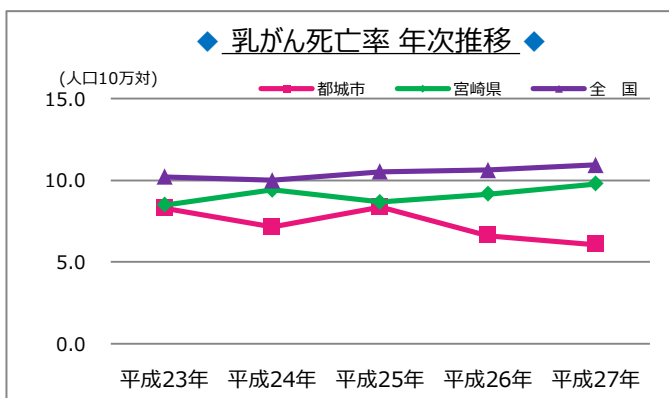
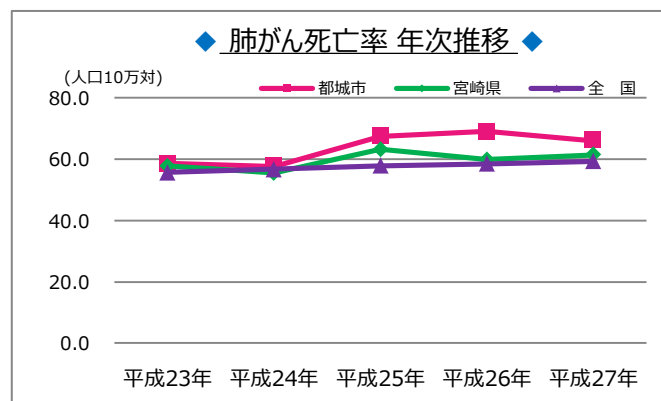
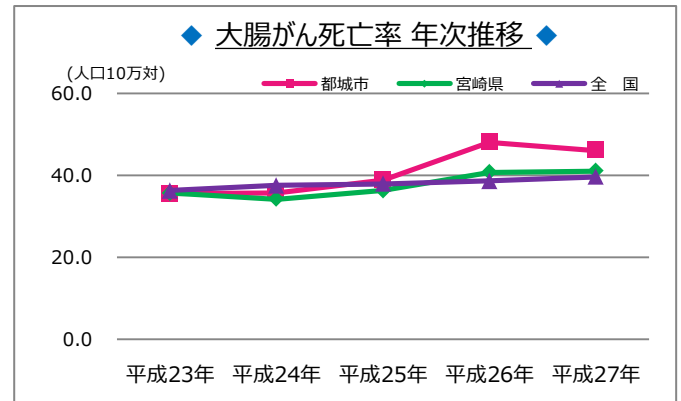
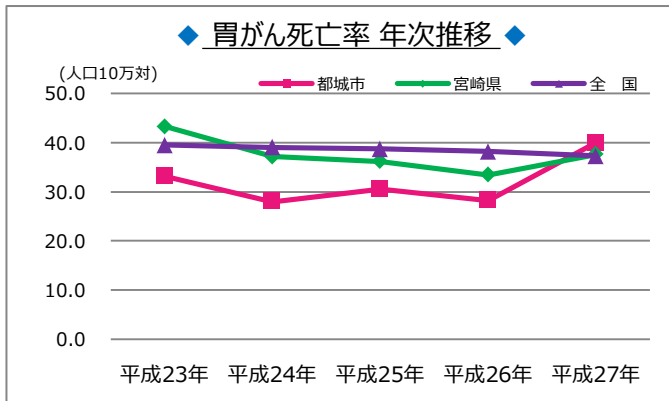


# 都城市 のがんの統計

## 1. 各がん死亡数・死亡率（人口10万対）年次推移

		平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年	
		死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
胃がん	都城市	56	33.1	47	28.0	51	30.5	47	28.2	66	40.0
	宮崎県	489	43.2	418	37.1	405	36.1	373	33.5	415	37.6
	全国	49,830	39.5	49,129	39.0	48,632	38.7	47,903	38.2	46,679	37.2
大腸がん	都城市	60	35.5	60	35.7	65	38.9	80	48.1	76	46.1
	宮崎県	403	35.6	385	34.2	407	36.3	454	40.7	453	41.0
	全国	45,744	36.3	47,276	37.5	47,654	37.9	48,485	38.7	49,699	39.7
肺がん	都城市	99	58.6	97	57.7	113	67.5	115	69.1	109	66.0
	宮崎県	654	57.8	625	55.5	708	63.2	668	59.9	678	61.4
	全国	70,293	55.7	71,518	56.8	72,734	57.9	73,396	58.5	74,378	59.4
乳がん	都城市	14	8.3	12	7.1	14	8.4	11	6.6	10	6.1
	宮崎県	96	8.5	106	9.4	97	8.7	102	9.1	108	9.8
	全国	12,838	10.2	12,617	10.0	13,230	10.5	13,323	10.6	13,705	10.9
子宮頸がん	都城市	18	20.1	7	7.8	9	10.1	8	9.0	11	12.6
	宮崎県	73	12.2	73	12.2	70	11.8	74	12.5	76	13.0
	全国	6,075	9.4	6,113	9.5	6,033	9.4	6,429	10.0	6,429	10.0

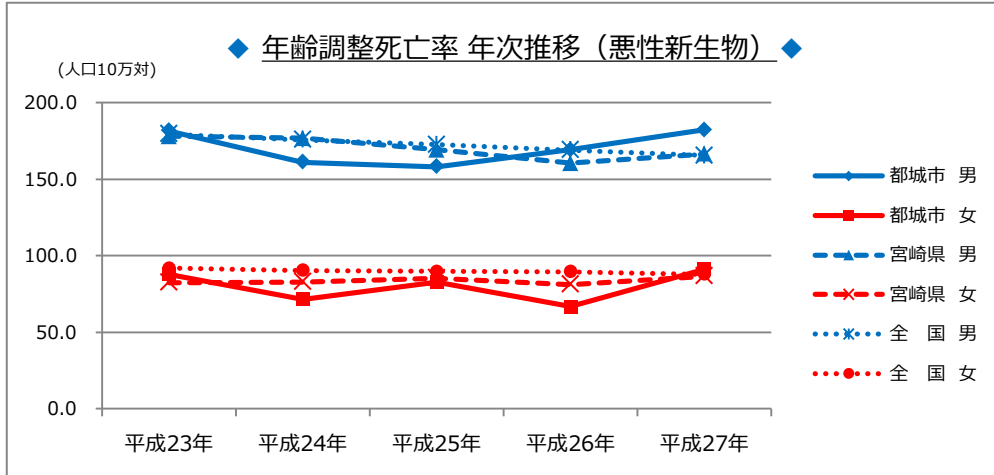
宮崎県健康づくり推進センター「健康づくりデータブック」より



## 2. 年齢調整死亡率【悪性新生物】（人口10万対）年次推移

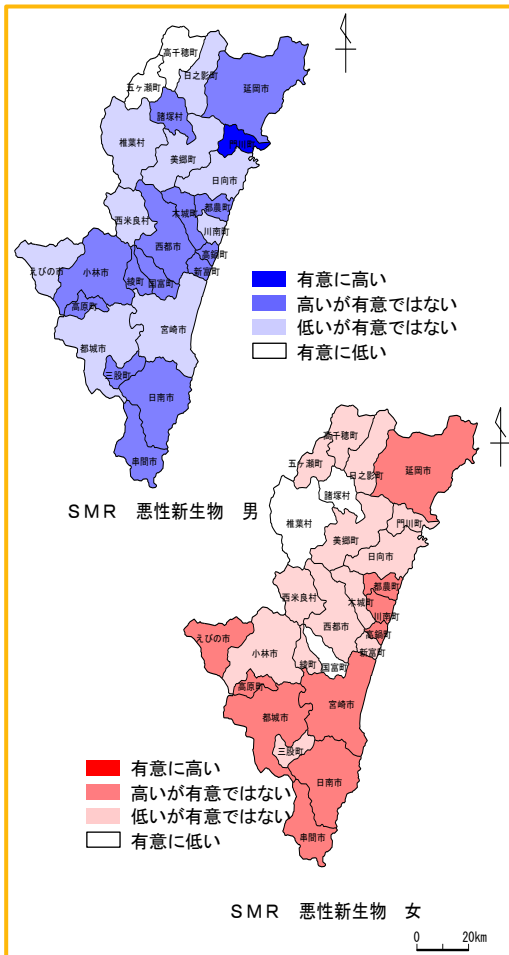
	平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
都城市	181.5	87.5	161.0	71.4	158.0	82.6	169.1	66.6	182.0	91.1
宮崎県	178.0	82.3	176.8	82.7	169.1	85.2	160.3	81.0	166.5	86.6
全国	179.4	91.8	175.7	90.3	172.5	89.7	168.9	89.4	165.3	87.7

宮崎県健康づくり推進センター「健康づくりデータブック」より



## 3. 標準化死亡比SMR（悪性新生物）

		平成22～24年			
		死亡数	SMR	上限	下限
都城市	男	913	1.00	1.06	0.93
都城市	女	652	1.00	1.08	0.93



### 市町村別主要死因別標準化死亡比（SMR）マップ

標準化死亡比（SMR）は対象者の性別、年齢構成が市町村によって異なるのを補正し、県全体の死亡率を基準にした比率です。しかし、人口規模の小さい地域では年単位の変動の幅が大きく比較に用いるのが適当でないこともあります。このため、3年間の死亡数による標準化死亡比（SMR）を算出し変動の幅を小さくし、地域がわかりやすいようにマップにしました。

標準化死亡比(SMR)の算定には、健康づくりデータブック（宮崎県健康づくり推進センターホームページ）の人口及び死亡数を利用し、地理情報分析支援システム MANDARA を用いてマップにしました。

#### 1. 標準化死亡比（SMR）算出方法

通常1年間の標準化死亡比

$$\frac{\text{当該市町村の実死亡数}}{\text{（当該市町村年齢階級別人口} \times \text{県年齢階級別死亡率）の総和}}$$

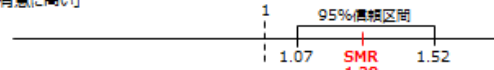
3年間の標準化死亡比

$$\frac{\text{3年間の当該市町村の実死亡数の総計}}{\text{（3年間の当該市町村年齢階級別人口} \times \text{3年間の県年齢階級別死亡率）の総和}}$$

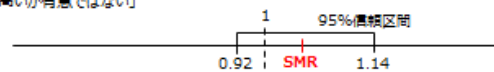
#### 2. 標準化死亡比(SMR)の推定

標準化死亡比（SMR）の95%信頼区間は、ポアソン分布を想定した係数を乗じて求めました。値の読み方については次のとおりです。

①「有意に高い」



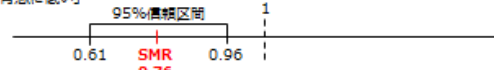
②「高いが有意ではない」



③「低い有意ではない」



④「有意に低い」



当該市町村の標準化死亡比(SMR)の95%信頼区間が1を含まない場合を有意と判定しています。